

平成20年度変更事業

■ 寄付行為より

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野における優秀な新人及び文化・芸術の研究者に対する助成。
- (2) 日本の伝統文化及び現代芸術を展示、公演する文化芸術祭の開催。
- (3) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野で著しい貢献をした者に対する顕彰。
- (4) 芸術系大学等に在学する学生に対する奨学金の給付または貸与。
- (5) 文化・芸術の交流を通じて国際社会の相互理解を促進する事業。
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

- 平成20年度事業計画については、事業計画・収支予算審議のおり、平成19年度に日本文化藝術財団は設立15周年を迎えることができたことは、喜ばしいことであり、15年を機とし、平成20年度は、これまでの運営・事業を省み、各委員会が中心となって考察し、長期計画を立案し、必要に応じ改善することを前提として理事会で決議された。平成20年度事業を進める中、下記のとおり変更することとなった。

概要

| | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 育英事業(寄付行為第4条(4)) | <u>総額 1,930,000円</u> |
| ◆ 大学生奨学金給与 | 2名 1名 30万円 |
| ◆ 大学院生奨学金給与 | 2名 1名 50万円 |
| 2. 助成顕彰事業(寄付行為第4条(1)(3)(5)) | <u>総額 1,500,000円</u> |
| ◆ 検討委員会開催 | |
| ◆ 次年度応募、審議方法の準備 | |
| 3. 文化芸術普及活動事業(寄付行為第4条(2)(6)) | <u>総額 13,850,000円</u> |
| (1) 「創造する伝統～音楽のきずな～」集大成準備 | 1,000,000円 |
| (2) 「創造する伝統～杜の中の文化祭～」 | 11,000,000円 |
| (3) ホームページ | 1,200,000円 |
| (4) その他 | 650,000円 |
| 4. 総支出 | <u>総支出 23,280,000円</u> |
| | 総事業費 17,280,000円 |
| | 管理費 6,000,000円 |

事業計画

1. 育英事業(第13回)(寄付行為第4条(4)) 【予算 1,930,000円】
 - ◆ 給付人数及び金額
 - (ア) 大学生 2名 奨学金 1年間30万円の給付
 - (イ) 大学院生 2名 奨学金 1年間50万円の給付
 - ◆ 対象
国内の芸術系大学の3年生・4年生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築(造園を含む)・デザイン(グラフィックデザイン及び工業デザインのみ)の実技部門を専門としている学生
 - ◆ 募集方法
芸術系(実技部門)の大学を対象に公募

- ◆ 応募方法
応募書類の提出
 - ① 担当学科専任教官の推薦書
 - ② 奨学生願書
 - ③ 作品写真
 - ④ 成績証明書
- ◆ 応募受付期間
平成20年5月初旬から平成20年5月中旬(当日消印有効)
- ◆ 選考方法
書類選考:応募書類を基に、当財団の奨学生選考委員会で審議、多数決にて選考
- ◆ 受給者の決定
理事会の承認を得、決定する。
- ◆ 奨学金の支給の方法・決定通知後、本人の口座に、7月と10月の2回に分割して支給
※応募要項送付先 全国の実技部門のある芸術系大学の44校

2. 助成顕彰事業(寄付行為第4条(1)(3)(5)) 【予算 1,500,000 円】
事業の見直しのため、平成20年度の公募・授賞を中止し、助成顕彰事業選考委員並びに、運営企画委員合同による会議を開き、21年度からの公募・授賞について検討する
会議開催日：平成21年2月6日
出席者：助成顕彰事業選考委員、運営企画委員

3. 文化藝術普及活動事業(寄付行為第4条(2)(6))

- (1) 「創造する伝統 きずな(仮称)」 【予算 13,850,000 円】
- 企画案①小島美子氏監修 「音楽のきずな」の集大成準備
小島美子国立歴史民俗博物館名誉教授とこれまでの「音楽のきずな」公演の記録を活かした集大成の方法を探り、準備する
 - 企画案②
「日本から音楽の『真髄』を楽しむことを次世代に広める」ことをめざし、若手演奏家を中心に、現場のスタッフと企画を立案する。

- (2) 「創造する伝統～杜の中の文化祭」 【予算 11,000,000 円】
自然と調和した日本独自の文化の、極み、美、楽しみを老若男女一緒に、またはそれぞれが感動をもって体験できるもよおし。杜のうつろいの中で、衣食住、遊びから達人の芸までを展開する。
主催：財団法人 日本文化藝術財団
助成：日本財団
後援：京都造形芸術大学、東北芸術工科大学他
特別協力：明治神宮

①「杜の中の文化祭 体験の杜」

開催日：平成20年 夏
会場：明治神宮芝生広場
内容：親子向映画、
糸操り人形
体験 抹茶、版画、絵手紙、杜の体験

②「杜の中の文化祭」

開催日：平成20年 10月26日～31日
会場：明治神宮 神宮会館、参集殿

内 容 : 伝統芸能、法楽器、オペラ、文楽、フラメンコ公演

※主たる公演の開催時期を、「明治神宮御社殿復興50周年記念奉祝事業」に合わせ、他の文化団体の参加を本財団が統括し、動員、広報の効果を上げ、公益性を図る。

(3) ホームページ 【予算 1,200,000 円】

- 「四季おりおり」(平成20年1月開始)の継続 毎月1日15日更新
春・夏・秋・冬、四季を友として暮らす日本人の心を再発見し、楽しめるよう、季節ごとのしきたり、行事、伝統についての情報を、写真を添えて掲載する。
- 日本文化藝術財団の事業のインフォメーション
- 日本文化藝術財団の情報開示、他

(4) その他 【予算 650,000 円】

- 「川口塾(仮称)」の開始
舞台芸術・音楽・演劇制作の現場の若いスタッフを中心に10名余りが、元NHK会長の川口幹夫氏に、「企画する」ということ、企画の意図すること、人の心を打つということ、行動するということなど、色々な角度から話を聞き、質問、懇談する。記録にまとめる。
会の内容は、後日ホームページで公開する予定。
- 公演・協力事業等
「明治神宮社殿復興記念奉祝文化奉納事業」における公益文化事業企画実施の協力
主催: 明治神宮御社殿復興50周年記念奉祝事業実行委員会